

令和 3 年度 茂木町社会福祉協議会事業報告

(1) 子ども・子育て支援事業

①子ども食堂

令和 3 年度は、長く続くコロナ禍の中でも感染予防対策を意識し工夫をしながら活動を行った。4 月～12 月は、テイクアウト方式によるお弁当での食事の提供。1 月以降は、開設場所も従来場所から移転し、新たな場所で新規一転し通常の子ども食堂「みんなの台所」を開設することとした。しかし、コロナウイルス感染の影響で再び通常の開設が困難となり 1 月 2 回目から開設が中止となった。

◇活動内容

- ・活動日時 月 2 回（第 2、第 4 木曜日）
- ・提供場所及び方法 4 月～12 月：元気アップ館
テイクアウト方式及び訪問配達
1 月～3 月：STEP 1 ビル 1 階「こんこん亭」
子ども食堂「みんなの台所」での食事の提供及び訪問配達
- ・提供時間 午後 5 時から午後 7 時
- ・活動団体 大きくなあれ かんか かんか（登録人数：11 人）

◇令和 3 年度（4 月～3 月）子ども食堂利用実績

- ・開設日：15 日、利用者延べ人数：304 人、支援者延べ人数：96 人

開催日	弁当食数	利用者	支援者	開催日	弁当食数	利用者	支援者
4 月 8 日	20	20	7	10 月 14 日	20	20	5
22 日	21	21	6	28 日	20	20	6
5 月 13 日	23	23	6	11 月 11 日	20	20	7
27 日	20	20	7	25 日	20	20	8
6 月 10 日	20	20	7	12 月 9 日	20	20	7
24 日	20	20	7	23 日	20	20	7
7 月 8 日	20	20	5	1 月 13 日	20	20	6
22 日	海の日でお休み			24 日	まん延防止等重点措置でお休み		
8 月 12 日	20	20	5	2 月 11 日			
26 日	緊急事態宣言中でお休み			25 日			
9 月 9 日				3 月 10 日			
23 日				25 日			

②日中一時支援事業

（障がい児放課後等一時預かり支援事業「なかよし広場」）

- ・開催日時 月曜日～金曜日（ただし、祝祭日、お盆（8 月 13 日～16 日）、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）を除く）

放課後～午後 6 時（長期休みは午前 8 時～午後 6 時）

- ・開催場所 なかよし広場（茂木町大字茂木 182-15）

<令和 3 年度 4 月～3 月までの利用状況>

開催月	開催日数	利用者数
4 月	21 日間	78 人
5 月	18 日間	61 人
6 月	22 日間	86 人
7 月	20 日間	85 人
8 月	19 日間	81 人
9 月	20 日間	84 人
10 月	20 日間	68 人
11 月	20 日間	63 人
12 月	20 日間	69 人
1 月	18 日間	55 人
2 月	18 日間	65 人
3 月	22 日間	74 人

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策

◇開所前と帰りに指導員が室内のテーブル、ドアノブ、その他子どもたちが触れるところを台所用漂白剤の薄め液で拭き掃除。

◇子どもの受け入れ時に体温の確認。

◇マスク着用の確認（マスクが苦手な利用児童への声掛け）

◇玄関で手指のアルコール消毒後に入室し、そのまま洗面所での手洗い、手指のアルコール消毒。

◇休憩時間に 2 度目の検温。

◇昼食、おやつ前に手洗い、手指のアルコール消毒。

◇保育室は常時窓を開けて換気。

◇空気清浄機を 3 台設置

- ・地域交流 野菜の配付

5 月下旬からきゅうりやピーマン、枝豆などの、様々な野菜の苗植えをプランターで育て、8 月下旬になかよし広場のご近所の方に野菜と日頃の感謝の気持ちを書いたメッセージカードを添えて配付した。お配りした方からお礼の手紙を頂いた。

- ・親子交流会 「なかよし納涼祭」

日時：7 月 30 日（金）10 時～12 時

なかよし広場指導員、茂木高校生ボランティア、社協職員、利用者とその家族とで水ヨーヨー釣りなどのレクリエーションを楽しむことができた。

- ・社協主催事業への参加

近所に住む高齢者世帯へ手作りうちわを作成し、お手紙を添えて配付した。

- ・なかよし広場クリスマス会

日時：12月24日（金）16時～17時

なかよし広場利用者5名、指導員3名、高校生ボランティア3名、支援者1名、社協職員1名で実施。支援者からのお菓子の配布や、高校生ボランティアのゲームや指導員の余興を楽しむことができた。

③学童保育事業

◎令和3年度茂木町学童保育入所式は中止、各学童保護者会総会は開催した。

◎新型コロナウイルス感染拡大防止対策（4学童保育共通）

◇子どもの受け入れについて

- ・入室前の手洗い、手指消毒、マスク着用、検温確認をして受け入れる。
- ・体調が悪い、もしくは37.5度以上あった場合は、速やかに保護者に迎えの連絡をする。
- ・マスクを外す昼食やおやつの際は、黙食を徹底する。
- ・まん延防止対策として、おやつは食べずに持ち帰りとする。
- ・学童保育室の窓は常に開けておき換気をする。

◇学童保育室内の消毒について

- ・毎日、または随時、塩素系消毒剤の薄め液で、室内（机イス・ドアノブ・その他手が触れるところ）及びトイレの拭き掃除を行う。

◇指導員も同じように手洗い、消毒、検温をする。

◎各学童の事業

○共通

◇ひとり暮らし高齢者へのお手紙

「地域のおじいちゃんおばあちゃんに元気を届けよう」お手紙事業への参加

- ・場 所：各学童保育室
- ・参加者：児童合計 125人
- ・内 容：茂木町のおじいちゃん、おばあちゃんにあてたお手紙を作成した。

◇水遊び

- ・期 日：茂木小 8月 5日（木）
逆川小 7月30日（金）・8月6日（金）
中川小 8月 3日（火）
須藤小 8月 6日（金）
- ・場 所：各学校 校庭
- ・参加者：茂木小 55人
逆川小 29人・28人
中川小 18人
須藤小 19人

◇クリスマス会

- ・期 日：茂木小 12月22日（水） 逆川小 12月23日（木）

中川小 12月20日(月) 須藤小 12月21日(火)

- ・場 所：各学童保育室
- ・参加者：茂木小 67人 逆川小 26人
中川小 22人 須藤小 25人

◇お別れ会

- ・期 日：茂木小 3月23日(水) 逆川小 3月 3日(木)
中川小 3月24日(木) 須藤小 3月16日(水)
- ・場 所：各学童保育室
- ・参加者：茂木小 60人 逆川小 24人
中川小 20人 須藤小 24人

○茂木小学童保育

◇「茂木町防災の日」に関連した活動

- ・日 時：8月5日(木) 10時～12時30分
- ・場 所：茂木小学童保育室
- ・参加者：児童 50人
- ・内 容：かつて茂木町であった災害のDVDを見たり、元消防職員の体験談や防災の話聞いた。

○逆川小学童保育

◇慶翁寺への遠足(緊急事態宣言のため中止)

- ・代わりに児童が手作りしたうちわを届けた。

◇お楽しみ会

- ・日 時：8月24日(火) 10時～11時30分
- ・場 所：逆川小学童保育室
- ・参加者：児童21人
- ・内 容：特別おやつを食べ、ビンゴ大会をして楽しんだ。

◇鏡開き

- ・日 時：令和4年1月7日(金) 16時30分～17時
- ・場 所：逆川小学童保育室
- ・参加者：児童25人(指導員4人)
- ・内 容：ちょっと早い鏡開きで、みんなでお汁粉を食べた。

○中川小学童保育

◇毛糸で作ろう

- ・日 時：7月27日(火) 10時～11時
- ・場 所：中川小学童保育室
- ・参加者：児童15人
- ・内 容：毛糸を使って、あやとり用の紐編みやエコたわし作りをした。

○須藤小学童保育

◇せんぼんの家へプレゼント製作

- ・日 時：7月29日（木）～8月6日（金）14時30分～16時
- ・場 所：須藤小学童保育室
- ・参加者：児童25人
- ・内 容：アイロンビーズの小物入れを作って、せんぼんの家に届けた。

◇工作

- ・日 時：8月26日（木）・27日（金）14時～15時30分
- ・場 所：須藤小学童保育室
- ・参加者：児童27人
- ・内 容：空き箱やペットボトルのキャップを使い、思い思いの作品を作って楽しんだ。

④子どもたちの農業体験

◎土いじり畑仕事 ジャガイモとポップコーンの種まき

茂木の豊かな自然の中での活動をとおして、自然の中の心地よさや土いじりを楽しみながら外で活動する喜びを感じ、時間の経過とともに育っていく様子をみながら育てる喜びや生きていることを実感する目的として活動を行った。

- ・参加者 茂木町に住む小学生(13人参加希望)
- ・支援者 ひきこもり在宅者、高校生ボランティア(5人)
- ・指導者 自然農園 空土ファーム 松原 努 氏

◇活動内容

開催日時	場 所	参加人数	支援者	作業内容	備 考
4月3日 (土)	林地区圃場	子供:12人	3人	種イモまき作業	・年間内容の説明 ・種イモを切り灰につけ圃場にまく
5月29日 (土)	林地区圃場	子供:8人	3人	除草・土寄せ・ポップコーンの種まき	・ジャガイモ畑の除草 ・ポップコーンの種まき
7月17日 (土)	林地区圃場	子供:12人	3人 高校生ボランティア(5人)	ジャガイモ掘り ジャガイモの試食	ジャガイモを持ち帰り、自宅でも味わってもらう
11月13日 (土)	林地区圃場	子供:5人	3人	ポップコーンの実を外し調理	ポップコーンを持ち帰り、自宅でも味わってもらう

◎大豆の種まきから始まる味噌づくり

大豆の種まきから味噌ができるまでの流れを実際に親子で体験し、茂木の自然に親しみながら大豆がどのように成長し、味噌になっていくのかを知り食育に繋げていくことを目的として活動を行った。

- ・参加者 茂木町に住む小学生と親子（11家族26人参加希望）、高校生ボランティア（5人）
- ・支援者 ひきこもり在宅者
- ・指導者 自然農園 空土ファーム 松原 努 氏

◇活動内容

開催日時	場 所	参加人数	支援者	作業内容	備 考
6月26日 (土)	林地区圃場	28人 大人：15人 子供：13人	3人	種まき作業	・年間内容の説明 ・圃場に大豆の種をまく
10月3日 (日)	林地区圃場	24人 大人：9人 子供：11人	2人 高校生ボランティア：4人	枝豆収穫	・枝豆を収穫し持ち帰り、自宅で味わってもらう
12月5日 (日)	林地区圃場	31人 大人：12人 子供：15人	2人 高校生ボランティア：4人	大豆脱穀、味噌汁試食	・昨年仕込んだ手作り味噌を使用した味噌汁の試食
2月20日 (日)	ゆずもホール	25人 大人：12人 子供：13人	1人 ※金子糶店店主	大豆の仕込み・味噌づくり	・ゆずもホールにて味噌づくりを実施

⑤子どものお手伝い講座（全3回）

子どもたちのできることを増やして家庭でも地域でも役に立つ頼れる子どもたちを育てていくことを目的として実施した。また、地域で活躍しているボランティアと一緒に学べる場となるようにし、地域で茂木の子どもを育てることとした。

◇第1回 「お金の使い方を楽しく学ぼう」

- ・日 時 10月2日（土） 午前9時30分～午前10時30分
- ・場 所 町民センター301号室
- ・参加者 児童4人
- ・講 師 東京スター銀行
- ・内 容 スタートレニング（お金のひみつ、お金を貯める、使う、お金のルール）を通して子どもたちがお金の大切さを学んだ。

◇第2回 「お家でできる簡単ご飯づくり」

- ・日 時 10月16日（土） 午前9時30分～11時
- ・場 所 「元気アップ館」調理室、食堂
- ・参加者 児童7人
- ・ボランティア 子ども食堂ボランティア2人、高校生3人
- ・内 容 子どもたちが子ども食堂のボランティア・高校生ボランティアと一緒に料理の仕方学び、持ち帰り用のサンドイッチを作った。

◇第3回 「自分の家で使える便利ワザ 掃除の仕方を学ぼう！」

- ・日 時 11月20日（土） 午前9時30分～11時

- ・場 所 なかよし館
- ・参加者 児童 4 人
- ・ボランティア 家事援助ボランティア 1 人、高校生 6 人
- ・内 容 子どもたちが簡易家事援助ボランティアと一緒に掃除の仕方を学び、施設を使い、実践を踏まえた体験をした。

⑥「地域のおじいちゃんおばあちゃんに元気を届けよう」お手紙事業

新型コロナウイルスの影響により、子どもの活動が自粛され、他者との交流も少なくなっている中、子どもたちが離れているところから地域に住む高齢者へ「お元気ですか？」の思いを手紙にして届けることにより、子どもたちの地域交流に代わる事業として子どもの高齢者への見守り活動（安否確認）として取り組み、社会貢献に繋げていく活動。

- ・対象世帯 85 歳以上ひとり暮らし高齢者 192 名
- ・参加児童 茂木町各学童保育利用児童
なかよし広場利用児童

◇活動内容 高齢者の安否を気遣う言葉「お元気ですか？」の言葉と絵や文章、折り紙など子どもが得意とするものを自由に描いた手紙を 192 名の高齢者宅に送付した。その後、手紙を受け取った高齢者より元気が出たと喜びの返事がたくさん届いた。それを学童保育利用の子ども達に繋いだ。離れていても、地域交流や繋がることの大切さを学ぶことができる社会貢献事業となった。

⑦子どものボランティア活動「手作りうちわ」で近所の見守り活動

夏休み期間に茂木町に住んでいる子どもたちが暑中見舞いを兼ねて近所や知り合いへ手作りのうちわを配付する活動。

活動した子どもたちへ頑張った分お楽しみプレゼントとして花火等を渡した。

- ・参加者 茂木町に住む子ども 17 名
- ・日 程 配付物の受け渡し
- ・訪問活動 7 月 16 日（金）から 8 月 30 日（月）まで
- ・配付活動先 40 件

⑧クリスマスサプライズイベント「サンタさんからの贈り物」

コロナ禍で、人と人とのふれあいができなくなってしまう中、子どもたちの喜ぶ姿を思い描きながら家庭とボランティア等が協力し合い、クリスマスプレゼントにのせて夢と温かい心を届ける活動。

高校生ボランティアと一緒にプレゼント準備やメッセージカード、動画作成等進めていった。

- ・配付日 12 月 20 日（月）～23 日（木）希望者宅へ郵送でプレゼントを届けた。

- ・対象数 小学生以下の子ども 118 名（未就学児 31 名、小学生 94 名）／60 世帯
- ・配付物 プレゼント（おもちゃ）、お菓子の詰合せ、メッセージカード、サンタへのお礼用はがき、お楽しみ DVD

⑨冒険遊び場プレーパークさかがわ・冒険遊び場プレーパークもてぎ

子どもたちが人と関わり、茂木の自然を感じ、自由に遊ぶ体験を重ねられる、自然豊かな茂木町だからこそできる遊びを通した子どもたちの居場所。

冒険遊び場プレーパークさかがわでは、仮設開設地として元気アップ館にて活動。3月から並松運動公園日本庭園へ移設し、冒険遊び場プレーパークもてぎへ名称を変更した。

ここには、子どものころ遊んだ昔遊びを教える高齢者やそれを学ぶ親や子どもたちがいる。また、子どもの遊びを通して障がい児と健常児が分け隔てなく夢中で遊ぶ姿がみられた。親ものびのびと遊ぶ子どもたちを見ながら情報交換の場ともなり癒される居場所となっている。

◇冒険遊び場プレーパークさかがわ

- ・開園日 毎月第 2、第 4 土曜日 仮設場所：元気アップ館南側広場
- ・時 間 午前 10 時～正午

◇冒険遊び場プレーパークもてぎ

- ・開園日 第 2、第 4 土曜日 開設場所：並松運動公園日本庭園
- ・時 間 午前 10 時～午後 3 時
- ・利用者 134 人
- ・支援者 12 人（有償ボランティア、一般ボランティア、高校生ボランティア）

開園日	利用者数	支援者数	備考
4月 10日	7人	2人	工作
4月 24日	11人	2人	工作、土遊び
5月 8日	3人	1人	工作
5月 22日	中止		毛虫駆除のため、殺虫剤散布
6月 12日	4人	2人	水鉄砲遊び、工作
6月 26日	1人	2人	七夕飾り作り
7月 10日	12人	7人	水遊び、ベーゴマ、虫取り
7月 24日	6人	6人	水鉄砲遊び
8月 14日	中止		コロナウイルス感染者増加のため自粛
8月 28日	中止		緊急事態宣言のため自粛
9月 11日	中止		緊急事態宣言のため自粛
9月 25日	中止		緊急事態宣言のため自粛
10月 9日	0人	1人	緊急事態宣言終了直後
10月 23日	4人	4人	竹トンボ作り、工作
11月 13日	14人	6人	竹トンボ作り、工作

11月 27日	6人	2人	竹トンボ飛ばし、落ち葉ベッド、工作
12月 5日	7人	7人	工作、落書き、おままごと
12月 25日	3人	6人	門松作り、工作
1月 8日	9人	5人	工作、落書き、新規開設場所視察
1月 22日	14人	4人	木登り、ハンモック、工作
1月～ 2月		7人	冒険遊び場プレーパークもてぎ開設準備
3月 12日	33人	7人	工作、木登り、ハンモック、ベーゴマ、ロープ
合計	134人	71人	

(2) 見守りネットワーク

①見守り報告会

民生委員児童委員に対し、上半期の見守り状況を報告及び、情報交換を行った。

地区	実施日	出席者
逆川地区	10月25日(月)	5人
須藤地区	10月25日(月)	6人
茂木地区	10月27日(水)	9人
中川地区	10月27日(水)	5人

②日常の見守り活動

自宅を訪問しての見守り

・ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯及びその他の世帯に対し日常の見守り訪問を行っている。現在登録している見守りボランティアは79人。

〈訪問件数〉

月	配 食			社 協			計
	ひとり暮らし	世帯	その他	ひとり暮らし	世帯	その他	
4	112	87	0	23	4	0	226
5	53	32	0	3	0	0	88
6	104	63	0	27	7	0	201
7	35	129	0	21	5	1	191
8	109	109	0	16	8	0	242
9	118	130	0	11	6	0	265
10	62	82	0	31	8	0	183
11	161	155	0	37	7	1	361
12	46	51	0	10	6	0	113
1	141	109	0	38	6	0	294
2	83	54	0	14	6	0	157
3	84	47	0	20	3	0	154

計	1,108	1,048	0	251	66	2	2,475
---	-------	-------	---	-----	----	---	-------

③季節の見守り活動

・第1回 春の見守り

5月10日～5月21日にかけて、マスクと簡易家事援助のチラシを持って、配食サービスセンター職員と社会福祉協議会職員が、75歳以上ひとり暮らし高齢者、80歳以上高齢者世帯その他（生活困窮世帯、障がい者世帯など）405世帯に対し、感染症予防の注意喚起をしながら訪問した。

・第2回 秋の見守り

10月4日～10月15日にかけて、歳末たすけあい事業の周知をしながら、除菌シートを持って配食サービスセンター職員と社会福祉協議会職員が、75歳以上ひとり暮らし高齢者、80歳以上高齢者世帯その他（生活困窮世帯、障がい者世帯など）432世帯に対し、見守り訪問した。

④配食サービス事業

- ・昼食の弁当を配達することを通して高齢者の日常的な見守りと安否確認を行っている。
- ・配食サービス登録者 682 件、実利用者延べ 211 件、令和 3 年 4 月から令和 4 年 3 月までの配食総数 16,892 件。

⑤ふれあい収集

指定されたゴミステーションに、自ら家庭ゴミを持ち出すことが困難な高齢者等で、家庭ゴミを持ち出すときに協力を得ることができる親族や近隣の住民等がない場合のうち、75歳以上ひとり暮らし、75歳以上のみの高齢者世帯、配食サービス事業を利用する人のいる家庭、その他、自ら家庭ゴミを持ち出すことが困難と認められる家庭。対象となるゴミは、カン、ペットボトル、ビン類、紙類、不燃ゴミ（コンテナ1個に入る程度の物）可燃ゴミ（町指定ゴミ袋1回2袋まで）登録料500円、利用料は無料。NPO法人茂木町配食サービスセンター（家事援助部門）に業務委託。213世帯が登録し、登録世帯には、1～2か月に1回（不燃ゴミ）、週に1回（可燃ゴミ）、定期的に地区割りして収集。

⑥集会型の見守り：ふれあい・いきいきサロン

◇「ふれあい・いきいきサロン」は、地域の方たちが参加し、定期的集まることで顔なじみの輪を広げ、いきいきとした楽しい生活を送ることを目的としている。

- ・町内の15か所で、10人から30人規模で1か月～3か月に1回開催。地域のサロンごとに何人かの支援者で内容を話し合い、地域の特色を生かしながら楽しみをもって開催している。

ほのぼのサロン(もてぎふれあいの家)	坂井下サロン(坂井下公民館)
すこやかクラブ(河井中公民館)	神井サロン(神井公民館)

下鮎田サロン(下鮎田公民館)	桜サロン(鮎田多目的集会所)
鮎田サロン(上鮎田公民館)	下飯サロン(下飯コミュニティセンター)
あぞみサロン(飯野ふれあいセンター)	サロン榎本(榎本公民館)
山内下平サロン(下平多目的集会所)	増井サロン(増井公民館)
小貫下ふれあいサロン(小貫下公民館)	上郭内サロン(茂木町民センター他)
菅又ふれあいサロン(下菅又ふれあい館)	

・サロン代表者情報交換会：令和3年12月1日

町内のサロン代表者8名が集まり、管理栄養士による健康栄養教室と、コロナ禍が続く中でのサロンの開催状況について意見交換会を実施。

(3) 生活支援

① 季節の提案型簡易家事援助

できないことへのお手伝いを、季節ごとに内容を提案して地域の簡易家事援助ボランティアが行っている。対象者は、茂木町に住む人で、年齢・世帯区分を問わず、地域のボランティアによる簡易的な家事援助を行うことで、自立した生活を営むことが出来る世帯（ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯、日中独居世帯、障がい者世帯、生活困窮者世帯、ひとり親家庭、子育て中の世帯など）。

・第1回季節の提案型簡易家事援助

6月～7月に、窓掃除、仏壇・神棚掃除、エアコンフィルター掃除など、31件の活動を実施した。

・第2回季節の提案型簡易家事援助

9月～10月に、浴室天井掃除、照明のかさ掃除、換気扇掃除など、18件の活動を実施した。

・歳末の提案型家事援助

11月～12月に、窓拭き、高所の掃除、寝室掃除など、19件の活動を実施した。

② 申請式簡易家事援助

自立した生活を送っている世帯で、単発的に支援の必要があるもののうち、社協で必要と認めた支援内容について、事前に「簡易家事援助利用申請書」により契約を結び、支援内容を登録。対象世帯からの申請または見守り訪問等からの声かけにより、その都度活動の調整を行う。

4月～12月にエアコンのフィルター掃除、窓拭き、仏壇掃除、お風呂場の天井掃除、換気扇掃除、電気のかさ掃除、草むしり、草木の整備を行い、令和3年度は合計23件の活動を実施した。

③ 歳末家事援助活動

日常生活の中で、簡易的な家事仕事など困っている世帯に対し、安心して新年を迎えられるよう歳末の家事援助活動を地域の家事援助ボランティアが行った。

期 間：11月15日～12月17日

対象者：ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯、障がい者世帯など 19 世帯

内 容：窓拭き 13 件、高い所掃除 5 件（エアコンフィルター・電気のかさ・換気扇・カーテンレール）、寝室掃除 1 件、合計 19 件の活動を実施した。

④善意の登録

善意の登録協力者が 92 人で利用が 13 件。日常の生活で必要なものが揃えられない人や見守り事業で活用された。

⑤歳末たすけあい募金 粗大ゴミ回収サービス事業

粗大ゴミを出すことのできない世帯にボランティアによる搬出の協力及び、業者による粗大ゴミの回収を行う生活支援サービス。

- ・対象世帯 粗大ゴミを出すことができず、搬出・処分に支援者を必要とする世帯 25 世帯
- ・回収物品 一般粗大ゴミ、リサイクル家電法対象家電（テレビ、冷蔵庫、洗濯機、エアコン）

（４）就労支援

障がい者や自分の家から出られないまたは、地域になじめずに一般就労までたどり着かないひきこもりの人たちを対象に、自宅以外の居場所をつくり、就労や地域貢献を通して少しずつ地域になじみ社会参加ができるよう促していった。また、そういった活動を通し自分ができることを行動に移し自信につなげていく。そして、地域住民としてなくてはならない存在だという意識を高めていく。

<主な活動>

- ① 美土里農園での作業
- ② 簡易家事援助のボランティア活動
- ③ 学童保育の図書装丁作業
- ④ 子どものボランティア活動のサポーター

（５）非常時の見守り

◇茂木町総合防災訓練

75 歳以上ひとり暮らし高齢者、寝たきり世帯、その他の世帯の見守り活動を実施し、ボランティアと対象世帯のマッチングを行い、7 月 19 日（月）から 7 月 30 日（金）にかけて、熱中症予防の注意喚起チラシと非常食を持って、117 名のボランティアが 258 件を訪問した。日常の見守りと非常時に繋げるため、ボランティアに対象世帯を挙げてもらった。ボランティアの訪問に繋がらなかった 65 件の 75 歳以上ひとり暮らし高齢者は、8 月 5 日（木）の茂木町総合防災訓練避難行動要支援者安否確認訓練時に見守りボランティアが訪問した。

◇3.11 あの日を忘れない災害時見守り訓練及び見守り報告会・追悼行事

2月21日（月）から3月4日（金）にかけて、災害時に備えた防災チラシと非常食、マスクを配付しながら75歳以上ひとり暮らし高齢者、80歳以上高齢者世帯、その他見守りが必要な世帯とボランティアから挙げた世帯合計465世帯へ見守り活動を実施した。

また、3月11日（金）には東日本大震災について災害が発生したときのことを思い返し、それぞれが改めて災害を考えてもらうために災害時の見守り報告会及び追悼行事を行った。東日本大震災発生当時の自分たちの様子や必要だった・備えておくべきもの、こと、訪問した世帯が地震にあった時の対応など、支援者たちが改めて見守りを行いこれからどのように備えていくことできるのか共有し合った。

追悼行事の中では被災者が抱えている孤独や孤立をテーマとした映画「ひとりじゃない」を上映し、帰る場所を失った人たちの苦悩を伝えていくきっかけとし、自分の地域にも置き換えてもらう機会とした。

活動ボランティアに対しては、見守り活動の情報交換会及び交流会を実施し、今後の活動に繋げていくための活動とした。

（6）福祉の担い手づくり

◇高校生ボランティア活動

茂木高校生40名がボランティアとして参加希望があった。活動先として学童保育、冒険遊び場プレーパークさかがわ、土いじり畑仕事、なかよし広場、土いじり畑仕事、イベントボランティアの6グループに分かれて活動した。また、ボランティア活動をする上での心構えや接し方について学ぶために「話の聴き方講座」などを実施した。

◇一般ボランティア

1/21（金）に、茂木町に住むボランティアに関心のある人20名を対象に、「話の聴き方（傾聴）教室～人の話を聴く上で大切なこと～」を開催した。ボランティア活動に必要な傾聴スキルの知識・技術を身につけることができた。

（7）ともだち作業所の経営

①ともだち作業所就労支援事業

利用者22人（就労継続支援B型サービス：12人、生活介護サービス：10人）

②概要

- 下請け作業
- アルミ缶のリサイクル（プレス、コンテナ設置・回収、販売）
- 各種野菜栽培、エゴマの栽培
- ふみの森の図書装丁（図書のカバー貼り）
- 館内販売（野菜、クッキー等）
- 美土里農園での活動

○定期健康相談・今井医師（毎月第2木曜日）

③実施事業

月	日	内 容
4	7～9 8 9 15 20 21 22 28	下請け作業（町井製作所） 定期健康相談（今井医師） 臨時保護者会 アムテック（日清鋼業株式会社・・・真岡市）へのアルミ缶販売 大根、人参の種まき レモングラスの種まき アムテックへのアルミ缶販売 味噌寄贈（金子糰店様）→館内販売
5	7 13 18 19 20 26 27～28	保護者会役員会 定期健康相談（今井医師） アムテックへのアルミ缶販売 カボチャの苗植え サツマイモの苗植え アムテックへのアルミ缶販売 保護者会総会 下請け作業（町井製作所）
6	10 11 22 23～25 24 29 30	定期健康相談（今井医師） アムテックへのアルミ缶販売 エゴマ苗箱に種まき エゴマ苗箱に種まき（2回目） 下請け作業（町井製作所） アムテックへのアルミ缶販売 お誕生会（4月・5月・6月生まれ利用者） サルビアの苗寄贈（半田造園様）→館内販売及び花壇に植える
7	2～6 6 7 15 16 18 19 19～26 28～29 29 30	下請け作業（町井製作所） 平成町公民館様から七夕プレゼント サルビアの苗植え 七夕飾りを玄関前に設置 定期健康相談（今井医師） アムテックへのアルミ缶販売 ジャガイモの収穫 マリーゴールド・ブルーサルビア苗寄贈（半田造園様）→館内販売 エゴマの苗植え（保護者の参加・・・8名） 下請け作業（町井製作所） 下請け作業（町井製作所） アムテックへのアルミ缶販売 エゴマの苗植え（2回目）
8	3 5 5～6 10 12 17～20	らくりん座観劇（ゆずもホール・・・利用者17人+保護者4名） 茂木町防災訓練参加・・・利用者21人の安否確認を行う 下請け作業（町井製作所） 学童保育での出張駄菓子屋販売のための作業所練習 定期健康相談（今井医師） 下請け作業（町井製作所）

	1 8 1 9 2 3 2 4 2 5 2 5 2 6	学童保育への駄菓子屋出店販売（茂木小）→中止 アムテックへのアルミ缶販売 学童保育への駄菓子屋出店販売（逆川小）→中止 学童保育への駄菓子屋出店販売（中川小）→中止 学童保育への駄菓子屋出店販売（須藤小）→中止 下請け作業（町井製作所） アムテックへのアルミ缶販売
9	1～ 8～14 9 16 17 22 24 28 29	タオル体操開始（毎日、午後の作業前） 下請け作業。（町井製作所） アムテックへのアルミ缶販売 定期健康相談（今井医師） 駄菓子の袋詰め アムテックへのアルミ缶販売 駄菓子を学童保育4校に配付 キャベツの苗植え ブロッコリー苗植え。絹サヤ・玉ネギ種まき お誕生会（7月・8月・9月生まれ利用者） 菜の花の種まき さつまいもの収穫（保護者7名参加）
10	6 7 7～13 14 18 20～29 28	ほうれん草の種まき 定期健康相談（今井医師） 作業所体験1名 下請け作業（町井製作所） エンドウ豆苗定植 エゴマ刈り取り 下請け作業（町井製作所） アムテックへアルミ缶販売
11	1～11 4 8～19 11 12 16 17 22～ 26～30	下請け作業（町井製作所） 保護者会（ゆずもホール） 体験入所（1名） 定期健康相談（今井医師） アムテックへアルミ缶販売 大根の収穫、サトイモ掘り 玉ネギ定植 下請け作業（町井製作所） 入所者1名（就労継続支援B型） 下請け作業（町井製作所）
12	1～20 9 16 21	下請け作業（町井製作所） 定期健康相談（今井医師） アムテックへアルミ缶販売 避難訓練 クリスマス会、お誕生会（10月・11月・12月生まれ利用者）
1	13 19～28	定期健康相談（今井医師） アムテックへアルミ缶販売 下請け作業（町井製作所） 下請け作業（町井製作所）

2	2～7 10 15～24 17	下請け作業（町井製作所） 定期健康相談（今井医師） 下請け作業（町井製作所） アムテックヘアルミ缶販売
3	3 3～8 10 17 22 29～31	アムテックヘアルミ缶販売 保護者会役員会 下請け作業（町井製作所） 定期健康相談（今井医師） ジャガイモの種芋植え 誕生会（1月・2月・3月生まれ利用者） 下請け作業（町井製作所）

*ふみの森の図書装丁（図書のカバー貼り）

*毎週水曜日、クッキー、シフォンケーキ、野菜等の館内即売実施

*毎週月・火曜日、美土里農園での施設外就労

④就労支援事業売上

単位（円）

項目	下請け	アルミ缶	施設外 就労	加工品	農作物	図書装丁	その他	合計
収入	521,488	943,315	92,000	407,100	236,720	600,000	165,381	2,966,004

*その他の売上・・・エコバッグ、コースター、そば殻枕、味噌、サルビア苗等

⑤美土里農園での活動（施設外就労）

月	作業日数	延べ人数	月	作業日数	延べ人数
4月	11日	11人	10月	8日	8人
5月	7日	7人	11月	9日	12人
6月	10日	10人	12月	6日	9人
7月	8日	8人	1月	6日	7人
8月	8日	8人	2月	8日	12人
9月	5日	5人	3月	8日	13人

*作業日・・・月・火曜日

*作業内容・・・ハウス内除草、枯葉・ランナー取り、いちごの箱折り

（8）相談支援・貸付事業

①心配ごと相談

◇日常生活の中からの相談支援

- ・電話や面談、来所できない人に対しては訪問を通して困っている事を聴きながら一緒に考え支援へと繋いでいった。
- ・来所・電話：日常生活の中で心配ごとや困ったことの話の聴きながら相談に応じ、必要な支援や関係機関へと繋いだ。
- ・訪問：日常の見守りの中から支援が必要と思われる世帯を訪問し、生活状況の把握を行い支援へと繋げていった。

＜相談件数状況＞

来所	電話	訪問	計
21 件	170 件	13 件	204 件

②障がい者生活支援センター

◇計画相談支援

- ・障がい児には健全な育成がなされ、障がい者には自分らしい自立した生活ができるよう一緒に寄り添い相談支援を行うとともに、障害福祉サービスが利用できるようサービス等利用計画を作成する。
- ・計画相談を行う中で事業所と連携を取り、本人の継続的な就労ができ、健康を維持し、生き生きとした生活が送れるよう、心配ごとや悩みごとの相談にのることで解決方法を一緒に見つけ出す。
- ・計画相談件数 34 件
- ・計画相談に関する支援内訳件数 継続サービス利用件数 99 件

＜計画相談等に関する相談件数状況＞

来所	電話	訪問	計
85 件	57 件	58 件	200 件

③茂木町社会福祉金庫（町独自）

- ・令和 3 年度貸付延べ件数 8 件 5 8, 5 0 0 円
- 内訳 生活資金 8 件 5 8, 5 0 0 円
- 高額療養資金 0 件 0 円
- ・貸付者償還金 5 5, 5 0 0 円
- ・貸付者未償還金 2 件 1 3, 0 0 0 円

④生活福祉資金（県社協）

- ・生活福祉資金 現在 3 人利用
- ・生活福祉資金特例貸付 緊急小口資金 2 3 件
- 総合支援資金 1 6 件
- 総合支援資金再貸付 8 件

（9）その他

①広報紙発行

- ・ふれあいタウン MOTEGI
5 月号（107 号）、6 月号（108 号）、7 月号（109 号）、8 月号（110 号）
9 月号（111 号）、10 月号（112 号）、11 月（113 号）、12 月（114 号）、
1 月号（115 号）、2 月（116 号）、3 月（117 号）

②ホームページ

- ・<http://www.motegishakyo.or.jp/>

③福祉機器貸し出し

- ・車イス 14 件
- ・電動ベッド 2 件

④スポーツ用具貸し出し

- ・輪投げ 1 件
- ・ペタンク 1 件

⑤ボランティア活動保険加入取り扱い

- ・14 件 272 名

⑥各種団体への支援

- ・老人クラブ連合会
- ・身体障害者福祉会
- ・手をつなぐ親の会
- ・ひとり親家庭福祉会
- ・ボランティア連絡協議会
- ・遺族連合会
- ・民生委員児童委員協議会互助会
- ・ともだち作業所保護者会
- ・介護者の家族の会「すまいる会」
- ・大きくなあれ かんか かんか

⑦表彰

第 27 回栃木県民福祉のつどい 令和 3 年 8 月 23 日（月）

栃木県社会福祉協議会会長表彰 社会福祉施設・団体功労者表彰

- ・小規模多機能型居宅介護グリーンハウスやまうち 馬籠 和子
- ・認知症高齢者グループホームグリーンハウスとちぎ 高橋 恵美子
- ・特別養護老人ホームききょうの里 渡邊 沙織

⑧会議等

月	日	曜日	内 容
5	18	火	社会福祉協議会会計監査
	28	金	共同募金基礎研修
6	2	水	理事会 (令和 2 年度事業報告、決算報告、評議員の推薦、理事・監事の候補者)
	21	月	評議員会 (令和 2 年度事業報告、決算報告、理事・監事の選任)
	21	月	評議員選任・解任委員会 (評議員候補の選任について)
	21	月	理事会 (会長、副会長及び常務理事の選定)
7	3	土	社協職員職場内研修
8	5	木	茂木町総合防災訓練 (職員参集訓練・災害対策本部設置訓練・見守り訓練)
9	2	木	栃木県共同募金会茂木町支会運営委員会
10	21	木	理事会 (第三回) (上半期事業報告、日常生活自立支援事業 (あすてらす) 町实施方式への移行について、定款の一部変更について他)
	21	木	評議員選任・解任委員会 (評議員候補の選任について)
11	2	火	評議員会 (第二回) (上半期事業報告、日常生活自立支援事業 (あすてらす) 町实施方式へ

			の移行について、定款の一部変更について他)
	18	木	真岡市社協来所（局長、次長、生活支援係長） （日常生活自立支援事業（あすてらす）町实施方式への移行についての打合せ）
3	1	火	理事会（第四回） （下半期事業報告、令和4年度事業計画（案）及び資金収支予算（案）、評議員会の招集等）
	18	金	評議員会（第三回） （下半期事業報告、令和4年度事業計画（案）及び資金収支予算（案））

⑨社会福祉事業基金寄付者（敬称略）

令和3年 4月 8日	匿名	50,000円
令和3年 4月 8日	中飯友和会	20,382円
令和3年 6月 4日	天昇堂友の会「平安」	120,000円
令和3年 6月 16日	連合栃木芳賀地域協議会	20,000円
令和3年 10月 25日	湧井久枝	100,000円
令和3年 10月 28日	匿名	50,000円
令和3年 11月 10日	古河ヤクルト販売株式会社	23,000円
令和3年 12月 1日	河又盛久	200,000円
令和3年 12月 17日	茂木地区安全運転管理者協議会	50,000円
令和4年 3月 24日	茂木町金融団	2,345円